

平成 30 年度第 7 回福祉作品コンクール小学校中学年の部 金賞受賞作品

『大切に えがおと心のバリアフリー』

尾鷲小学校3学年 なかのあゆむ 中野歩夢さん



みんなで
もちつき!

おわせ 社協だより

3

No.156号
月号

令和2年3月1日発行

編集・発行



社会福祉法人 尾鷲市社会福祉協議会

栄町5-5 TEL:22-3246
<http://www.owasewel.com>

この広報誌に関するご意見は尾鷲市社会福祉協議会 地域福祉課 総務・福祉係までお寄せ下さい。
この広報誌は、共同募金の配分金の一部を活用して作製しています。

部署

～私たちこんな仕事してます～ 紹介リしー！



生活支援課

福祉の総合相談窓口です。

身近な困りごとから、専門的な相談まで相談者と共に関係機関と連携しながら、問題解決へと繋げていきます。また障がい者や判断力が不十分な高齢者、生活困窮者の方などが、住み慣れた地域で安心して生活を送っていくために、必要な支援を行うと共に権利侵害を防止していくための取り組みも行っています。

■生活困窮者自立支援事業

生活や仕事に心配・不安・悩みを抱えている人に対し、相談員がお話を伺い、どのような解決方法があるのか一緒に考え、具体的な支援プランを作成し、寄り添いながら自立に向けた支援を行います。



■生活資金貸付事業

(生活福祉資金貸付事業・福祉金庫緊急貸付事業・緊急食糧等支給事業) 低所得者や高齢者、障がい者の世帯が安定した生活を送ることができるよう相談支援を行い、必要であれば経済的な支援を行います。

■日常生活自立支援事業

高齢や障がいにより、判断能力が低下し、一人で日常生活を送る事に不安のある方が地域で安心して生活が送れるよう支援します。このサービスは利用者本人との契約に基づき、福祉サービス利用援助を中心に、日常的な金銭管や書類等預りサービスを行います。

■法人後見事業

判断力が不十分な高齢者、知的障がい、精神障がい等によって物事を判断する能力が不十分な方に対し、尾鷲市福祉福祉協議会が法人として成年後見人等になり、その方の判断能力を補い安心して日常生活ができるよう支援を行います。

○お問合せ先

何か心配な事、相談したい事などありましたら、左記までご連絡ください。

連絡先 Tel 37 4 1 5 1



こんにちは！きらり☆尾鷲人のコーナーです。第3回は、『図書館にまつわるボランティアさん』というテーマでお送りします。今回は、『ポランの会』さんの紹介をします。



『ポランの会』さんは、長谷川奈代子さんを代表に、市内の本好きの方たちが児童書のブックトークをしたり、市内の幼稚園・小学校などで読み聞かせをしているポランティアのグループです。設立当初から活動している、メンバーの東勝美さんにお話を伺いました。

どんなことをしているの？

平成二年に活動が始まりました。本好きのお母さんたちの、「子どもの本（児童書）を気軽に勉強できる集まりがほしい」という要望で、仲間が集まり、読書サークルとして活動しています。

その月の担当者が、著者や本、テーマを決めて、一か月間、会員それぞれが本を読み込みます。それを、毎月第3木曜日の定例会で、面白かった表現や、気づいたこと、発見したことなどを好き好きに語り合っています。

その他に、幼稚園やちびっこ広場へ出向いて、絵本の読

み聞かせをしています。子どもたちは目を輝かせながら絵本に見入ってくれています。

どんな人が参加しているの？

会員は十二名です。五十代～六十代の主婦の方が参加しています。

活動への思いを聞かせて下さい

ポランの会は、本好きの人が集まっています。それぞれ読むポイントや、感じ方が違うので、ブックトークは毎回新たな発見があります。

また、読み聞かせに持つていく絵本も、事前にあらかじめ読み込んだり、調べたりして準備しています。現場で読み聞かせをすると、子どもたちの方からも「なんで○○なん？」と質問や、時々思いもよらぬツツコミが入ることもあるので、調べたことが役立つこともあるんですよ。

とても集中して聞いてくれ

る時、「楽しかった」と言ってもらえる時は、「次はどんな本を持っていこうかな」と意欲が湧きます。

活動の見学はできますか？

ポランの会は、会員募集中です。本好きの人、若い人を歓迎しています。どんな活動か見学してみたいという方は、ぜひ図書館まで言ってください。小さい子どもがいるから……と思われるかもしれませんが、定例会に子どもを連れてきて大丈夫！歓迎します。みんなで一緒に読みましょう。



名前の由来...

宮澤賢治の著作の一つ、『ポラーノの広場』に登場する「ポラーノの広場」から名前を付けています。ポラーノの広場のように、ワイワイガヤガヤと語り合うことのできる場であるように、との思いが込められています。



寄付・募金へのご協力ありがとうございました



善意銀行

これまで、厄払いや、追悼の意を込めて、金銭や物品を当会が設置した善意銀行に寄付していただいております。他の寄付金と併せて尾鷲市のさまざまな地域福祉のために有効に活用しています。

平成 31 年 2 月 1 日から令和 2 年 1 月 31 日までに
ご寄付いただいた方です。(順不同)

みょうちょうじ 妙長寺(平成 31 年 2 月 5 日)	様	20,000 円
べんてんしゅうおわせきょうく 辯天宗尾鷲教区	様	20,000 円
おわせちゅうがっこうだいなかいそつぎょうせいいどう 尾鷲中学校第七回卒業生一同	様	84,284 円
かたごうしんこう 賀田庚申請	様	50,000 円
おわせわらい OWASE 笑い(ラフター)ヨガクラブ	様	5,000 円
おわせみたりよくほつでんしよあんぜんえいせいぎょうぎかい 尾鷲三田火力発電所安全衛生協議会	様	6,621 円
おわせすえのかい おわせ陶の会	様	20,000 円
さばるか 佐波留会	様	35,024 円
あいしやうかい 愛唱会	様	22,050 円
くらちもちりかす 倉本積一	様	100,000 円
みょうちょうじ 妙長寺(令和 2 年 1 月 31 日)	様	20,000 円
とくめい 匿名	7 件	315,000 円
ごうけい 合計		697,979 円

【物品寄附】

みやのうえしょうがっこう 宮之上小学校	様	切手
のなか ゆずる 野中 譲	様	切手



共同募金を活用した地域サロン



寄付金を活用した災害ボランティア講座



共同募金を活用した福祉作品コンクール



赤い羽根共同募金

目標達成!

赤い羽根の共同募金は、三重県共同募金会が実施する募金活動です。集まった募金は「じぶんの町をよくするしくみ」として来年度尾鷲市にも配分され、子育て世代の地域交流や、高齢者の見守り・サロン活動、福祉教育等、尾鷲市内の様々な福祉活動に活用する予定です。

尾鷲市目標額	2,596,200 円 (昨年より 418,100 円減)
募金額	2,632,242 円 (昨年より 49,500 円減)
達成率	101.39% (昨年より 12.42%減)

日本赤十字社会費

日本赤十字社のあらゆる活動(献血、災害救護、国際的な救護活動、ドクターヘリ運営等)に役立てられます。尾鷲市でも、救急法講習会の実施や、日赤奉仕団の炊き出し訓練など、日赤の活動が行われています。

尾鷲市目標額	2,691,000 円
(昨年度より)	84,000 円の減)
募金額	2,247,733 円
(昨年度より)	136,625 円の減)
達成率	83.5%
(昨年度より)	2.4%の減)

災害義援金

国内で発生した災害で被災した自治体を通じて、全額が被災者へと届けられるお金です。主に日本赤十字社を通じて被災地に送ります。

令和元年 8 月豪雨災害(佐賀県)	107 円
令和元年 台風 15 号災害	200,106 円
令和元年 台風 19 号災害	527,593 円
京都アニメーションに係る義援金	1,153 円
【これまでの総額】	
東日本大震災義援金	51,522,608 円
北海道胆振東部地震災害	260,945 円

この 1 年間、市民の皆様からは、多くのあたたかいご支援・ご寄付をいただきました。集まった寄付金は福祉のまちづくりに役立てさせていただきます。

